

新副町長に竹本康美氏就任

大山真理子前副町長の後任に、9月13日から新たに竹本康美氏が副町長に就任しました。

竹本 康美
Takenoto Yasumi
副町長

Profile
清源寺区出身。昭和24年6月17日生まれ。15歳で自衛隊に入隊。40年にわたり全国各地で国家防衛の任務に携わる。趣味は山歩き、名所旧跡探訪、読書。座右の銘は「不易流行」。妻と母と3人暮らし。64歳。

私たちの町はとてもポテンシャル（潜在能力）が高い町です。豊かな自然、福岡や熊本、長崎に近い、国道があり航路がある町、これだけでも十分な魅力を持つていると思います。また、工業でも町のシンボルである4基のクレーンをはじめ、多くの企業が進出し、大きな発展を遂げています。また、豊かな自然に恵まれ、農業、漁業にも取り組んでいます。つまり、町はこれから発展していく素材、まちおこしの素材が多くあるということです。

これらの素材を生かせるよう、町長の基本方針でもある「住みやすい・住んでよかった」と思えるまちづくりを後押ししながら精進努力し、職員の先頭にも

たって中逸町政をしかり支えていく覚悟です。

特に、これまで国家の危機管理に従事してきた経験を生かし、防災能力の高い、真に命を大切にすまちづくりと、職員の人材育成に貢献し、副町長としての任務を全うしてまいります。

今後とも、よろしく
お願い申し上げます。



金婚式表彰式

第55回金婚式表彰式
(熊本日日新聞社主催)
は9月3日、長洲町中央公民館で行われました。
この日は、43組(対象50組)の夫婦が出席。中逸町長とともに、50年目の節目を祝いました。

夫婦で歩んだ18,250日。
18,251日目も変わらず、これからも、一緒に——。

行政区	氏名(夫)	氏名(妻)	行政区	氏名(夫)	氏名(妻)	行政区	氏名(夫)	氏名(妻)
平原	酒井 貞義	アツ子	立野	村野 成人	フクミ	新山	田頭 義行	ヤスエ
平原	酒井 守雄	よし子	向野	榎原 英樹	つやき	新山	松岡 大喜	やす子
平原	西井 隆博	つぎよ	向野	林 精一	由記子	宝町	濱本 幸智	アキ子
清源寺	緒方 明	しげ子	向野	山本 正文	憲子	宝町	松枝 安男	よし子
清源寺	濱田 惇	みつ子	宮崎	古林 幸之	キミ子	宝町	宮村 昭壽	京子
清源寺	福田 武敏	すみ子	赤田	宋 征義	ヒトミ	磯町	大根 牧男	なみ子
上沖洲	海月 茂利	アヤノ	葛輪	西田 敏秋	ひろ子	下本	清田 潔	すみ子
上沖洲	永田 誠夫	つや子	塩屋	中村 敏人	康子	下本	楠本 智美	ミチ子
腹赤	池本 誠吾	えい子	古城	木村 守	ふみよ	下本	平川 つか	直美
腹赤	西 和之	ふさ子	古城	田上 邦夫	まさ子	今町	下田 辰輝	あき子
腹赤	西尾 國廣	みつ子	古城	平川 道治	八重子	今町	竹川 憲一	峰子
腹赤	藤末 謙	あつ子	建浜	高野 光廣	みち子	下東	宮路 幸光	ちづ子
腹赤	藤末 好久	紀代子	建浜	野畑 勇	みち代	東荒神	杉野幸一郎	美千代
折地	松岡 英信	あつ子	建浜	本田 英雄	スミエ	東荒神	福島 禎二	なみ子
折地	宮邊 忠義	はる子	梅田	中島 満喜	せい子	大明神	塩山 英治	イツ子
折地	吉田 賢二	キヨ子	新山	近藤 勝	まさ子	大明神	宮本 守	マサ子
赤崎	森本 茂義	じゅん子	新山	園部 哲	まさ子			

いつまでも元気な笑顔を 平成25年度長洲町敬老会



当日は互いの長寿を祝おうと多くの人が来場

「平成25年度長洲町敬老会」は9月14日、ながす未来館文化ホールで開催され、町内に住む79歳以上、町関係者など約410人が出席し、長寿を祝いました。

式典では中逸町長が「この良き日を皆さんと一緒に迎えられることを何よりうれしく思います。これからも皆さんが住み慣れた地域で元気に過ごしていけるよう、福祉に力を入れたまちづくりを行ってまいります」とあいさつ。会場は拍手で包まれました。

表彰では、白寿賞、米寿賞、長寿賞の代表者に中逸町長から記念品を贈呈。式典後のアトラクションでは、町内保育園児による遊戯や坂東三登伯会による日本舞踊などが披露され、長寿の祝いに花を添えました。



白寿賞を代表して記念品を受け取る西田祐義さん(東荒神)



米寿賞を代表して記念品を受け取る児玉キクエさん(折地)



長寿賞を代表して記念品を受け取る牧嶋信也さん(清源寺)

Town News
04 ものづくりの楽しさに触れる
 大分県宇佐市立長洲中学校で「ものづくり講座」を実施



円形木琴づくりを生徒に教える中逸町長

長洲中学校と大分県宇佐市立長洲中学校の交流会は8月24日、長洲中学校で行われ、長洲ものづくり塾の伊藤塾長と中逸町長が宇佐市長洲中学校の生徒にものづくり講座を実施しました。

6年目の交流を迎えた今年は、大分県宇佐市長洲中学校から生徒7人が来町し、円形木琴づくりに挑戦。生徒たちは、作り方に戸惑いながらも、出来上がった木琴の音色を楽しんでいました。中逸町長は、「今日、皆さんが覚えた作り方を1年生に指導し、ものづくりの楽しさを伝えてください」と話し、熊本ものづくり塾より寄贈していただいた円形木琴のキットや木札のストラップをプレゼントしました。その後は、同日行われたのしこら祭にも参加。ソーラン節を踊るなど、互いに親睦を深めました。

Town News
05 柔道を通じた交流
 石垣島の小池淳一さん 長洲柔道塾を訪問



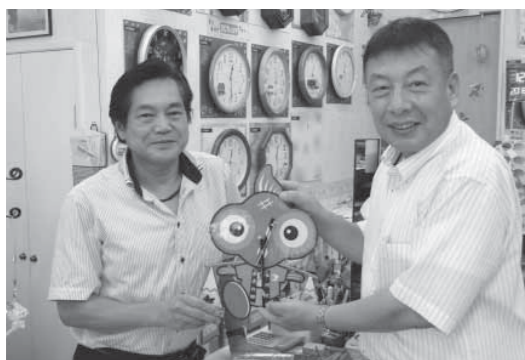
子どもたちに熱心に技の指導をする小池さん

沖縄県石垣島で小中学生に柔道を教えている小池淳一さんが8月27日から29日の3日間、長洲柔道塾（新宅盛二監督）を訪れ、同塾に通う子どもたちに柔道を指導しました。

これは、町在住の小池さんの父の元を訪れた際、自身も指導者として刺激を受けたいとの思いから同塾を訪れたことがきっかけで行われたものです。

稽古では、打ち込みや乱捕りの中で子どもたちに技の入り方などをアドバイス。小池さんは「島の子どもたちと長洲町の子どもたちで交流の輪を広げていけたらうれしいですね」と柔道を通じた交流に期待を寄せました。

Town News
06 ふれきんちゃんが時計に
 福村俊行さんがオリジナルふれきんちゃん時計を町に寄贈



ふれきんちゃん時計を寄贈した福村さん（左）と中逸町長

福村俊行さん（今町区）によって作成された「ふれきんちゃん時計」は9月5日、町に寄贈されました。これは、時計店を営む福村さんの手作りによるもので、町のために役立ててほしいと特別に作成されたものです。

作成された時計は木をふれきんちゃんの形に切り取って作られ、秒を刻む秒針には小さなふれきんちゃんがあしらわれています。時計を受け取った中逸町長は「福村さんは、ほかにも「くまモン時計」なども作成されており、「町で使ってもらえれば嬉しいです」と話されました。

なお、「ふれきんちゃん時計」は、役場玄関ロビーに展示しています。ぜひご覧ください。

Town News
01 地域発展に貢献したい
 不二ライトメタル株式会社がKUMADAI マグネシウム工場を増設



調印式後、固い握手を交わす（左から）中逸町長、真崎部長、中重社長

不二ライトメタル株式会社の工場設備の増設に対する協定書の調印式は8月20日、熊本県庁で行われました。これは、同社が取り組んでいる「KUMADAI マグネシウム合金」の開発設備の増設に対して行われたもので、調印式には同社の中重健治社長と中逸町長が調印し、真崎伸一商工観光労働部長が立会人を務めました。

今後は高強度難燃性マグネシウム合金の分析と評価を行うための設備が新たに整備される予定で、中重社長は「難燃性マグネシウム合金の開発については、製品化に向けて取り組んでいるところであり、地域の発展に貢献していきたい」と地域と製品に懸ける決意を述べました。

Town News
02 ロアッソ熊本をみんなで応援しよう
 ロアッソ熊本が町役場で応援を呼びかけ



エンブレムを手にふれきんちゃんや町職員もロアッソの勝利を祈願

サッカーチーム「ロアッソ熊本」を盛り上げていこうと、「ロアッソ熊本をJ1へ」県民運動推進本部の関係者が8月22日、町役場を訪れ、応援の呼びかけを行いました。

この日は、昨年制作された「絆エンブレム・モリノス」（肥後象がん製のプレート）に、中逸町長をはじめ、町マスコットキャラクターふれきんちゃんや町職員たちが触れ、勝利とJ1昇格の祈りを込めました。

また、熊日新聞社のマスコットキャラクター「ぶれすけ」も一緒に訪問し、応援の呼びかけを行いました。

Town News
03 日立造船株式会社有明工場の善意に感謝状
 日本赤十字社 献血功劳団体表彰



感謝状を受け取った森工場長（写真左）

日立造船株式会社（森暢良工場長）への献血功劳団体に対する表彰の伝達式は8月23日、同社で行われ、同社を代表して森工場長に中逸町長から感謝状が伝達されました。

これは、日本赤十字社熊本県支部長感謝状として、10年以上継続的に献血に協力した団体、あるいは献血の推進活動に功労のあった団体に感謝の意をもって贈られたものです。

Town News
10 町が雲仙市でPR
「くにみの日」に熊本ものづくり塾、みんなの蔵（いしはら）が出店



くにみの日でも大人気のふれきんちゃん

有明海を隔てた雲仙市と町との交流の一環として、長崎県雲仙市国見町で9月23日、「くにみの日」に、町からマスコットキャラクターの「ふれきんちゃん」やみんなの蔵（いしはら）、熊本ものづくり塾が参加しました。

今年で20回目を迎えたこの祭りは、毎年9月23日（くにみ）に開催されている、同市恒例の祭りです。

晴天に恵まれたこの日は、会場が有明フェリー乗場駐車場ということもあり、長崎県や県からも多くの人々が来場しました。長洲町のブースでは国産材を使った木札の配布や、布草履の販売など長洲町ブランドのPRを行いました。

地域だより

みんなの蔵

優しい光に包まれた六地藏祭



灯籠の灯が辺りを包み、幻想的な雰囲気を醸し出す会場

みんなの蔵（いしはら）では8月23日、周辺地域で「六地藏祭」を開催しました。これは、町指定文化財である六地藏石幢を地域で守り継承を通じて地域交流を図ろうと毎年行われているものです。

この日は、手作りの竹灯籠とろうソク約650本が並べられ、夜になると、優しい光が会場を訪れた来場者を優しく包み込みました。祭りでは、長洲音頭や、地蔵に扮して長洲よかこ音頭が披露されました。中心となって祭りを運営した草野武人区長（西新町）は「毎年、大勢の人に来てもらって盛り上がり本当にうれしく思います」と笑顔を見せていました。

向野区

子どもみこしと夏祭り



新たに改良されたみこしを担いで区内を歩く子どもたち

向野区（浦田計廣区長）では8月4日、子どもたちを中心に子どもみこしを行いました。今年のみこしは、少人数でも担ぐことができるように改良されたものを使用。みこしの外側にはふれきんちゃんと子どもたちの絵が描かれ、子どもたち自身で色を塗って仕上げられました。

この日、早朝から同区の向野七社宮を出発した子どもたちは、地域の人たちの歓迎を受けながら、みこしを担いで区内を一巡。夜の部の夏祭りは雨のため順延となりましたが、公民館で25日、子どもたちを中心にビンゴゲームなどが行われました。

Town News
07 美しい海を次世代へ
きれいな川と海づくりデー

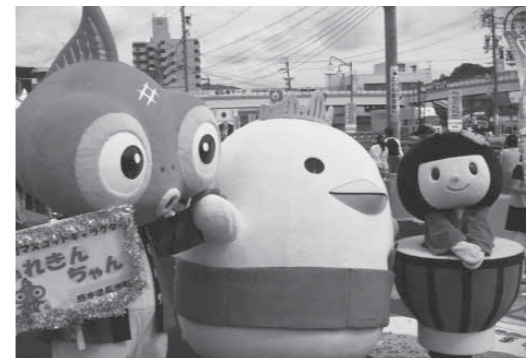


住民同士協力しながらごみを回収

地域住民らによる長洲海岸の清掃は9月7日、長洲海岸で行われました。これは、「きれいな川と海づくりデー」の一環として、町のきれいな川と海を守り、次の世代に伝えていくこと、また自然への感謝の気持ちを込めて、毎年開催されているものです。

この日は早朝にもかかわらず約350人が参加。海岸に打ち上げられた流木やプラスチックのごみなどを拾い、最終的に集まったごみは約740キログラムにも及びました。住民一人一人が自分たちの住む町の手と環境について考える機会となりました。

Town News
08 ふれきんちゃん 長洲町をふれ売り！
愛知県瀬戸市「せともの祭」でPR



全国のゆるキャラと一緒に祭りを盛り上げたふれきんちゃん（左）

愛知県瀬戸市で9月14日、15日に開催された「せともの祭」にふれきんちゃんが参加、長洲町をPRしてきました。金魚の形をした焼物をはじめとした、「ものづくり」の文化を通じて交流のある同市。2日間で39万人が訪れた「せともの祭」では、同市のキャラクター「せとちゃん」や愛媛県今治市の「パリエさん」とともに、グッズを配ったり、写真撮影や握手に応じたりと、訪れた多くの人たちと触れ合いました。

ふれきんちゃんは、「熊本から来たの？」「大きくて目立つねー」などと声をかけられながら「金魚のまち・長洲町」をしっかりと印象付けていました。

Town News
09 プロの技を目の前で体験
プロバスケットボール選手が長洲中生徒を指導



生徒たちにプロの目線で指導する熊本ヴォルターズの選手たち

熊本を拠点に活動するプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の神原裕司選手、高田慶太選手は9月15日、長洲中学校を訪問し、バスケットボール教室を行いました。

これは、バスケットを通じて地域と触れ合う「トリコロールキャラバン」の一環として行われたもので、ドリブル練習からスタートし、パスやシュート練習などを行いました。

最初は恥ずかしさから声が出なかったり、失敗を気にして思い切りできなかったりした生徒たちも「自分たちもできないことがある、失敗してもいいからチャレンジしてみよう」という選手たちの言葉を受けて、次第にミスを恐れず、難しいドリルにも果敢にチャレンジする姿が見られました。